

◆千葉県議会議員（浦安市選挙区）
矢崎けんたろう議会報告 Vol.31

慎重審議を求め

安全保障関連法制へ 意見書提出を發議

安倍政権の集団的自衛権行使への解釈変更は容認しない！



▲JR千葉駅前にて、県民に報告

前衆院選の圧勝を経て圧倒的多数におごる安倍政権は、議会制民主主義の正しい姿を見失っているように思えます。安全保障関連法制は、野党議員の質問に真摯に答えることもなく議論を尽くさず、衆議院特別委員会及び本会議にて強行採決されました。憲法審議会の参考人となった高名な憲法学者3人全員が「憲法違反」と述べたこの法制は、立憲主義に反する解釈変更であり、到底容認できるものではありません。民主党千葉県議会議員会では、強行採決に先がけこの法制を廃案に追い込むため、慎重な審議を求める意見書の提出を發議、6月議会で提出しました。

結果として、県議会でも過半数を超える議席を持つ自民党に否決されてしまいました。廃案に向け引き続き活動をしています。

県議会報告



2015
Vol.31



【Profile】町立見明川小、市立見明川中出身、県立市川東高校、駒沢大学を卒業後、富士(現みずほ)銀行に入社(16年勤務)。2007年4月千葉県議会に出馬し初当選。2011年5月再選。2015年4月3選を果たす。総合企画水道常任委員会。民主党千葉県議会議員会財務会長。民主党千葉県連組織委員長。
<http://www.yazaki-kentaro.jp>

「どうすれば、
廃案にできるのか？」

安全保障関連法制の動きに伴い、民主党千葉県議会議員会では、否決された意見書の内容と提出の経緯を報告するとともに、この法制に関する私たちの考え方を訴えるため、県内各地で駅頭活動を展開しています。

冒頭の「どうすれば廃案にできるのか？」は、そうした活動の中で、県民のみならず最も多く投げかけられる質問です。

法制は、参議院に送られ審議中ですが、参議院でも与党が過半数を超えており、否決されるとは考えにくい状況。また、審議が長引くと「60日ルール」（参議院に送られた法案が60日以内に採決されない場合否決したとみなされる憲法59条の規定）が適用され、もう一度衆院で議決できることになり、3分2賛成で法案が成立してしまいます。

安倍総理は、この法案を提出する前から、「本国会で法改正を成立させる」と明言しており、3度の強行採決も辞さない姿勢。その強行姿勢を揺さぶるものはなにか。それは、みなさん一人ひとりの声に他ならないのです。

私たち民主党議員は、日々駅頭で市民・県民に呼びかけを行っていますが、日がたつにつれ力強い手応えを感じるようになってきました。安全保障関連法制反対の声を上げ、その輪を拡げること、そして安倍政権の支持率を徹底的に下げること、それがこの法案を廃案につなげる唯一の道です。

「家族がささやかな食卓を囲んで微笑みあう。そんな小さな幸せを守りたい」これが私の政治信条です。戦争は、言うまでもなくその最も対極にあるもの。集団的自衛権の行使を認める「新三要件」には明確な歯止めがなく、法案が成立すれば、専守防衛を超えた道への歩みが始まってしまいます。

その歩みを止めるために、今、声を大きな力にしましょう！

総合企画水道 常任委員会

改選後の委員会は、3度目の「総合企画水道常任委員会」の所属となりました。
以下質疑内容です。

◆地方創生総合戦略について

人口減に備え 活力ある千葉を

昨年末、政府は、30万人規模の雇用を地方に創出することなどを目標に掲げた人口減少に対応する5カ年計画「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。それに伴い、全ての自治体は、今年度中に「地方版総合戦略」を策定するよう求められています。

千葉県では、知事が選任した有識者、実業界、団体等の代表からなる「千葉県地方創生総合戦略策定懇談会」を設置し、策定に向けた意見をとりまとめています。
国の総合戦略では、「人口減少と



地域経済縮小の克服」のためには、地方から東京圏への人口流出に歯止めをかけ、「東京一極集中」を是正することが掲げられています。

しかし、千葉には、「くらし満足度日本一」を目指すことで、人口減少に歯止めをかけ、活力を維持することなどが盛り込まれた総合計画「新・輝けーちば元氣プラン」が、最上位の計画として存在しています。策定中の千葉版の総合戦略が、どのような位置づけになるか確認しました。「この戦略は、総合計画の中にも含まれるもので、人口面・地方の活力に特化したもの（政策企画課長とのこと。千葉は、国が定める「東京圏」に位置しますが、満足度を追求する独自戦略を保持し、人口減に備えて行くよう、要望しました。

◆交通政策審議会答申について アクセス向上で

千葉の可能性を拡大

国土交通省が2015年度中にとりまとめる新たな鉄道整備計画に向けた交通政策審議会へ、千葉県からどのような要望をする予定か確認しました。

東京8号線（有楽町線の野田延伸）と、東京11号線（地下鉄半蔵門線の松戸延伸）が、盛り込まれる予定。また、「京葉線りんかい線の相互直通運転にも、県として力を入れていかなければならない」（交通計画課長）との答弁。更に成田空港駅進入路の複線化なども検討にあがっているとのこと。

鉄道のアクセス向上は、県の活力増大につながります。アクセスの利便性拡大は、街の可能性はもろろんのこと、県民の可能性拡大にも繋がる重要な施策です。積極的な推進を要望しました。

矢崎コラム・二度の負託

みたび

改選後初の定例会が終了しました。会期の初日、本会議場でニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の弦楽四重奏によるミニコンサートがありました。

議場いっぱい響く軽やかなハーモニーに耳を傾けると、これまでの2期8年の記憶が脳裏に浮かんできます。

初めて臨む本会議に胸を躍らせて座っていた新人議員の私。当時は、ニューフィルの窮状を知ることもなく、議場コンサートが無邪気に聴いていました。

同業団が、県の支援縮小により存続すら危ぶまれる状況にあると知ったのは翌年の2月。それから、再生・自立に向けた積極的支援を求め活動がはじまりました。



県議会改選までの3年で、ニューフィル再構築計画が策定され、予算がつき、常任指揮者が決まって、経営を安定化することができました。

復興のただ中であつた2期目最初の定例会。議場コンサートは閉会日に行われ、鎮魂の調べが震災後の激務にあたつてきた職員や議員を包みこむように響いていたのを憶えています。それから今までの間に、ニューフィルは、累積赤字を解消するまでに再生。昨年には、更なる経営安定化に向けた中期経営計画「ステップアッププラン」が策定され、自立に向かつて力強い歩みを続けています。

二度（みたび）の負託をいただき、議場で聴く四重奏。今回は、過去2回のコンサートにも増して、心に響くものがありました。

ニューフィルが歩んできたこの8年の例を示しているように、活動が目に見えるかたちで成果となり、県民の生活をより豊かにしていくこと。そうしたご期待が、二度、この県議会に私を送ってくださいました理由に他なりません。

管弦楽の調べが思い起こさせてくれた原点。くしくもコンサートの最終曲は、「ふるさと」でした。「県民の可能性を最大に」。選挙中に訴えた「志を果たす」ため、専心一意の精神でこれからの4年も全力で活動してまいります。

県政へのご意見、県政相談をお気軽にお寄せください。

千葉県議会議員

矢崎けんたろう

Web <http://yazaki-kentaro.jp>

Mail info@yazaki-kentaro.jp

Tel 047-720-0929

Fax 047-720-0939



アドレスや電話番号読み込み



県政に あなたの声を 県政相談受付

矢崎けんたろう事務所 〒279-0022 浦安市今川 4-2-2-1